



題字・井茂圭詞(書家・文化功労者)

令和4年1月号 兵庫県芸術文化協会

発行所／(公財)兵庫県芸術文化協会
文化振興部
〒650-0011 神戸市中央区下山手通4丁目16番3号
(兵庫県民会館内) 電話078-321-2000
編集・発行人／山本亮三
(公財)兵庫県芸術文化協会理事長
http://hyogo-arts.or.jp

躍動する兵庫、コロナを乗り越え未来へ



兵庫県知事
(公財)兵庫県芸術文化協会会長
齋藤元彦

新年あけましておめでとうございます。昨年、新型コロナウイルスの暮らした大きな影響を及ぼしましたが、県民・事業者・医療関係者の皆様のご協力により、第五波を乗り越えることができました。しかし、感染再拡大のリスクは続きます。マスク着用、手洗い、「密」の回避など基本的な感染対策の徹底を引き続きお願いします。県としても、保健所や医療提供体制の強化、三回目のワクチン接種の推進など、対策に万全を期します。同時に、「ワクチン・検査パッケージ」等も活用しながら、飲食、旅行、イベントなど、社会経済活動との両立も図っていきます。

さらに、今年はポストコロナ時代を見据えた取組を本格的に検討・推進する年とします。

その一つは、時代の潮流であるデジタル化やグリーン化の加速。デジタル技術、働き方、教育、医療・介護、地場産業や農業など様々な分野で取り入れるとともに、再生可能エネルギーの導入拡大や水素の利活用などの地球温暖化対策に力を入れます。また、少子高齢・人口減少社会への対応や、顕発化・激甚化する自然災害への備え、交流と日常生活を支える道路ネットワークの整備など、すべての県民の皆様が安心して、育ち、働き、暮らし続けられる、だれも取り残さない兵庫づくりを進めます。

大きなポテンシャルを持つベイエリアの活性化にも本腰を入れます。二〇二五年大阪・関西万博は、兵庫に人・モノ・投資を呼び込む大きなチャンスです。更なる発展の起爆剤とすべく、ベイエリアプロジェクトの起動、万博の来場者を県内各地へ誘うフィールドバリエーションの具体化など、新たなチャレンジをしていきます。

もとより、こうした取組は行政だけでなくできるものではありません。民間との連携をこれまで以上に広げていきます。また、私自身が県内各地で地域の皆さんと対話を重ね、地域の課題やニーズを新たな施策に繋げていく県民ポトムアップ型県政を推進します。

「躍動する兵庫」の実現に向け、飛躍の一年としていく決意です。皆さんのご理解、ご支援をお願いします。

兵庫県立歴史博物館

巡回展

“ひょうご五国” 歴史文化キャラバン



降伏文書調印に使用した万年筆
兵庫県立歴史博物館

施設・設備の大規模改修工事のため令和5年3月まで休館中の兵庫県立歴史博物館が、摂津・播磨・但馬・丹波・淡路の旧五国の博物館・資料館で巡回展を開催します。

五国ごとの特色に注目しながら会場ごとに少しずつ展示内容を変え、それぞれの地域ゆかりの資料も多数展示されます。れきはく資料の「里帰り展」としてもお楽しみいただける展覧会です。この機会にぜひ、お近くの会場で兵庫県立歴史博物館の展示品をご覧ください。

- 1回目の会場は尼崎市立歴史博物館。1月8日(土)・9日(日)・17時(入館は16時30分まで)。月曜休館(祝日の場合は翌平)。
- 2回目の会場は淡路市立淡路文化史料館。7月16日(土)・8月21日(日)。
- 3回目の会場は播磨赤穂市立歴史博物館。9月10日(土)・10月18日(火)。
- 4回目の会場は但馬豊岡市立歴史博物館。4月29日(金・祝)・6月14日(火)。
- 5回目の会場は丹波市立柏原歴史民俗資料館。11月12日(土)・12月18日(日)。

つながるアート！ひょうごのアートテスト動画

第3弾の配信スタート

当協会の動画配信事業「ひょうごアートテスト動画」の第3弾が当協会

のYouTubeチャンネルで配信スタートしました。現在は、市野年成(陶芸家)、時里二郎(詩人)、柴田知佳子(美術作家)各氏の動画が配信されています。

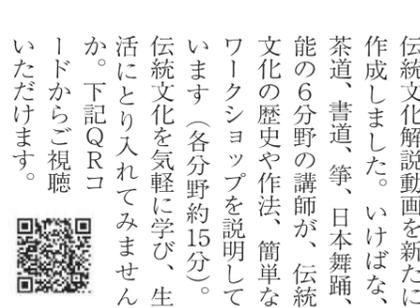


「つながるアート」の第3弾が当協会のYouTubeチャンネルで配信スタートしました。現在は、市野年成(陶芸家)、時里二郎(詩人)、柴田知佳子(美術作家)各氏の動画が配信されています。また、私自身が県内各地で地域の皆さんと対話を重ね、地域の課題やニーズを新たな施策に繋げていく県民ポトムアップ型県政を推進します。

子どもわくわく体験教室

YouTubeで動画配信

兵庫県では、伝統文化を学ぶことを通じて豊かな心を育て、うるおいのある生活を実現するため県内の小・中・高校で「子ども伝統文化わくわく体験教室」を実施しています。このたび、初心者向けの伝統文化解説動画を新たに作成しました。いけばな、茶道、書道、箏、日本舞踊、能の6分野の講師が、伝統文化の歴史や作法、簡単なワークショップを説明しています(各分野約15分)。伝統文化を気軽に学び、生活にとり入れてみませんか。下記QRコードからご視聴いただけます。



ふれあいの祭典

第27回ふれあい美術展

昨年12月24日から26日の3日間にわたり原田の森ギャラリーで開催した「第27回ふれあい美術展」は、お蔭様で無事に会期を終えました。ご来場いただきました皆様、ありがとうございました。皆様、ありがとうございます。ご来場ありがとうございました。ご来場ありがとうございました。ご来場ありがとうございました。



幅広いジャンルの作品が一堂に集まる

SNSでも情報発信中!

動画配信はこちらをチェック

- YouTube ユーチューブ
- Instagram インスタグラム
- facebook フェイスブック
- twitter ツイッター

兵庫ゆかりのアートテスト動画を配信中心！
YouTubeチャンネルに登録をお願いします！

こだま

毎年、高校の恩師から年賀状を頂く。有難いことに卒業以来、約四十年間、続いている。一年生の時の担任で、私が所属した美術部の顧問でもあった恩師。年賀状は、毎回パステルカラー単色で刷られた風景画の版画である。そんな年賀状が届くたびに、新潟県町諸寄での美術部夏合宿を思い出す。部員は漁港や漁船、自然を対象に三泊四日で油絵を描く。昼は夏の強い日差しを浴びながら二十号キャンパスに向かって悪戦苦闘し、夜はミートイニングで先生から助言を頂く。先生は必ず作品の良いところを見つけて褒めてくれる。「この波は上手に描けているね」「色の使い方が〇〇さんらしくて良いね」等。最終日の夜は漁港の防波堤に集まり、皆で歌を歌う。満天の星の下、夜風に吹かれて歌うのは気持ちが良い。遠くにイカ釣り船の漁火が見える。最後に先生は必ず「あの歌をハモろうよ」と言う。岡林信康の「友よ」だ。♪夜明けは近い♪♪歌声は星空に吸い込まれていく。ハモっていないけれど笑顔になる。「一瞬の美しい時間は永遠の記憶となる」というフレーズを誰かから聞いたことがある。一枚の絵、一つの歌、一つの言葉、誰しも心の中で大切にしているものがある。恩師は大切な何かを今も教えてくれる。(S)

ふれあいの祭典

兵庫ふれあい美術展

鈴懸の径絵画展(小サイズの日本画・洋画作品展)と統合し開催



「おとうさんとっしよ」高橋義美(日本画)



「家族っていいね」市嶋久資(写真)



「ふるさと住吉川」中川洋一(鈴懸の径絵画)

兵庫県在住、在勤、在学... 兵庫ふれあい美術展が12月24日から26日まで兵庫...

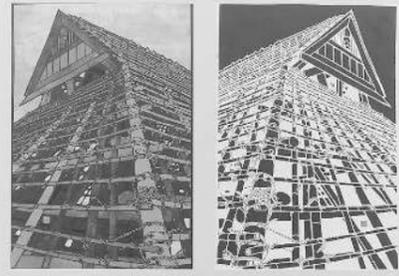
【受賞者(敬称略)】 兵庫県知事賞 日本画 高橋義美、洋画 岩佐盾香、工芸 野村由美、写真 市嶋久資

【受賞者(敬称略)】 兵庫県知事賞 日本画 高橋義美、洋画 岩佐盾香、工芸 野村由美、写真 市嶋久資

日本画 藤原靖代、兵庫県美術家同盟賞 洋画 中川美子



「玉楼春」尾中梨瑛(書)



「葺き替え」野村由美(工芸)

新進芸術家育成プロジェクト リサイタルシリーズ

兵庫県民会館けんみんホールで開催

1月 Vol. 43 野村 菜由 フルトリ



野村 菜由

【日時】1月7日(金)19時 【出演】フルト/野村 菜由、ピアノ/秋元孝介



和田 友紀菜

2月 Vol. 44 和田 友紀菜 ソプラノ リサイタル



中嶋 弥生

3月 Vol. 45 中嶋 弥生 ヴァイオリン リサイタル

【日時】2月25日(金)19時 【出演】ソプラノ/和田 友紀菜、ピアノ/榎本優人

【日時】3月11日(金)18時 【出演】ヴァイオリン/中嶋 弥生、ピアノ/山中 歩夢

1番「雨の歌」ト長調 作品78、バルトーク/ラプソデー 第一番 Bb94a

【入場料】一般2000円、学生1500円

【入場料】一般2000円、学生1500円

【入場料】一般2000円、学生1500円

ひょうごアーティストサロン開設15周年記念

第21回 一先会書展

深山龍洞師、他約300点を出品いたします。何卒ご高覧の上、ご指導賜りますよう

お申し込み お問い合わせは 文化振興部

友の会特典施設 兵庫県民会館内 Café はあとす。のご紹介



ヘルシー豆腐ハンバーグ弁当 1000円(税込み)



催物情報

☆記事中の「友の会会員」は兵庫県芸術文化協会友の会会員。割引は原則として本人のみ適用。

◎=開催日、㊦=休館日
㊨=開館時間、㊩=入場(館)料金
㊪=内容、㊫=出演者・団体
㊬=会場、㊭=問い合わせ先
主催者等の都合により掲載内容が変更される場合がございます。お出かけの際には各施設等へご確認ください。

兵庫県民アートギャラリー

■第36回私学教員美術展〈1階〉㊨1月28日(金)～30日(日)㊨10時～17時、最終日は～16時㊨無料㊨日本画、洋画、工芸等約30点
■第60回兵庫県私学総連合美術展〈2階〉㊨1月28日(金)～30日(日)㊨10時～17時、最終日は～16時㊨無料㊨日本画、洋画、工芸、デザイン約250点

ひょうごアーティストサロン

■兵庫県民会館ロビーコンサート〈1階ロビー〉今西真理マリンバコンサート㊨1月8日(土)14時㊨無料㊨マリンバ/今西真理、草木里早*いけばな/米田さち園(兵庫県いけばな協会/未生流(庵家))
■兵庫県書作家協会選抜展〈1階サロン内〉㊨1月31日(月)まで㊨10時～17時、最終日は～16時㊨水・日曜日、12月29日～1月3日㊨無料㊨兵庫県書作家協会会員6人の展示

原田の森ギャラリー

■西陣美術織 伊藤若冲展〈東館1階〉㊨1月4日(火)～10日(月・祝)㊨10時～17時、初日は12時～、最終日は～16時㊨無料㊨織物の絵約70点
■第29回眺展〈本館1・2階〉㊨1月8日(土)～9日(日)㊨10時～17時、最終日は～15時㊨無料㊨書約1000点
■第21回一先会書展 併催 第19回全国学生書道展〈本館1・2階、東館1階〉㊨1月14日(金)～16日(日)㊨10時～17時、最終日は～16時㊨無料㊨書約1000点
■ビエンナーレ武蔵美 HYOGO2021〈本館1階〉㊨1月19日(水)～23日(日)㊨10時～18時、最終日は～16時㊨無料㊨洋画、写真、工芸、デザイン、彫刻、建築約60点
■こうべ陶芸教室作陶展〈東館1階〉㊨1月19日(水)～23日(日)㊨10時～17時30分、最終日は～16時㊨無料㊨陶芸約200点
■第50回関西三余会 美しいかな書展〈本館2階〉㊨1月21日(金)～23日(日)㊨10時～17時、最終日は～16時㊨無料㊨書約300点
■2022 第23回神戸市立六甲アイランド高等学校 芸術系美術デザインコース展〈本館1階〉㊨1月25日(火)～30日(日)㊨10時～18時、初日は13時～、最終日は～16時㊨無料㊨洋画、写真、工芸、デザイン、彫塑約150点
■第4回五国の魅力 学生交流書道展〈東館1階〉㊨1月28日(金)～30日(日)㊨10時～16時、最終日は～15時30分㊨無料㊨書約350点
■第12回全国学生防災書道展〈東館2階〉㊨1月28日(金)～30日(日)㊨10時～16時、最終日は～15時30分㊨無料㊨書約650点
■第5回こうべ障がい者芸術フェスタ HUG+展2021〈本館2階〉㊨1月29日(土)～2月5日(日)㊨10時30分～17時、初日は13時～、最終日は～14時㊨無料㊨書、洋画、写真、工芸、デザイン、その他約500点
■丹南精明園 作品展〈本館障害者アートギャラリー〉㊨1月6日(木)～3月31日(日)㊨10時～18時、最終日は～12時㊨無料㊨書、洋画約15点

横尾忠則現代美術館

■横尾忠則の恐怖の館
㊨2月27日(日)まで㊨10時～18時、入館は17時30分まで㊨月曜日(ただし祝日の場合は翌平日)、12月31日～1月1日㊨一般700円(友の会会員は550円)、大学生550円、70歳以上350円、高校生以下無料※予約優先制㊨1月15日(土)オープンスタジオで担当学芸員によるキュレーターズ・トークを開催します(先着30名)。
◆オープンスタジオ・コンサート〈1階〉華麗なるニューイヤーコンサート㊨1月16日(日)14時㊨無料(先着50名、定員になり次第締め切り)㊨マリンバ/岡瀬尚美、島田菜摘、コイチェフ・イヴァイロ、フルート/深江亮太、テノール/榎本てるあき㊨乾杯、アヴェ・マリア、グラナダ、帰れソレントへ、アンダーソンメドレー ほか

神戸

■第18回 佐伯紀久子之会「別会能」
㊨2月23日(水・祝)㊨13時㊨一般10000円(当日指定席)、学生3500円(学生席)㊨仕舞/「難波」井上裕久、「網之段」藤井完治、「邯鄲」上田貴弘、「春日龍神」吉井基晴、「景清」観世清和、能/「檜垣」佐伯紀久子㊨湊川神社神能殿 ㊨078・731・2727(佐伯)★5組10人に。14日(金)必着

阪神南・北

■第84回企画展 中原淳一展～現代にも響く”美”のメッセージ～
㊨2月23日(水・祝)まで㊨9時30分～17時、入館は16時30分まで㊨水曜日(2月23日は開館)㊨大人700円、高中生300円、小学生100円㊨戦前、雑誌『少女の友』の人気画家として一世を風靡した中原淳一。終戦直後の1946年には自ら編集者となって女性誌『それいゆ』を創刊。戦後の荒廃の中で夢を忘れた女性たちに、ファッションだけではなくライフスタイル、心の持ち方まで幅広い分野から「常に美しくあれ」とのメッセージを発信し続けました。本展では、中原氏が伝えたかったメッセージを様々なカテゴリーから紹介します。㊨宝塚市立手塚治虫記念館 ㊨0797・81・2970★5組10人に。14日(金)必着



©JUNICHI NAKAHARA/HIMAWARIYA 『それいゆ』第37号 春号表紙絵原画(1956年)

東・北播磨

■「子午線上のアート」展
㊨3月21日(月・祝)まで㊨10時～17時、入館は16時30分まで㊨月曜日(ただし祝日の場合は翌平日)、12月29日～1月3日、祝日の翌日㊨大人300円、65歳以上250円、大高生200円、中小生100円㊨「子午線のまち」をテーマに、東経135度線上に位置する西脇市と明石市にゆかりのある作家の作品を展示します。西脇市からは「日本のへぞ」シンボルマークをデザインしたイラストレーター・吉田稔美さんの遠近法と被写界深度を利用したユニークで不思議なピープショー(のぞきからくり)の作

プレゼントのご応募について

①希望プレゼント名②希望枚数(2枚まで)
③〒住所④氏名⑤電話番号⑥友の会会員の方は会員番号⑦メッセージを明記し、ハガキかFAXで送付。
*応募締切後に抽選。当選者の発表は、発送をもってかえさせていただきます。

〒650-0011 神戸市中央区下山手通4-16-3
(公財)兵庫県芸術文化協会「すずかけ」係
FAX 078-321-2139

*応募者の個人情報の取り扱いについては(公財)兵庫県芸術文化協会が厳重に管理し、プレゼントの発送・関連するお問い合わせのみに利用いたします。

品を、明石市からは明石の風物や、子午線上に建つ明石市立天文科学館の時計塔を描く画家・三浦信男さんの絵画を紹介します。㊨西脇市岡之山美術館 ㊨0795・23・6223

中・西播磨

■新春特別展「創立50年記念 '21日本のガラス展」巡回展
㊨1月6日(木)～3月6日(日)㊨10時～17時、入館は16時30分まで㊨月曜日(1月10日は開館)、1月11日(火)、2月24日(水)㊨一般310円、大高生210円、中小生50円㊨日本ガラス工芸協会の創立50年を記念して開催する展覧会。現会員のうち77人の最新作と、日本ガラスアート界に大きな足跡を残した先達15人の作品を併せて展示。約90点。㊨姫路市書写の里・美術工芸館 ㊨079・267・0301



JGAA 賞作品「ケトル」新倉晴比古(2021年) 個人蔵 撮影:松井良浩

但馬

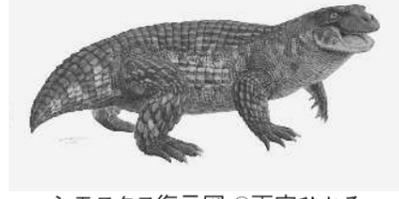
■第12回特別展「錦絵の世界」
㊨1月21日(金)～4月26日(火)㊨9時～17時、入館は16時30分まで㊨水曜日(ただし祝日の場合は翌平日)㊨大人500円、大高生300円、中小生250円㊨当館所蔵の多彩な錦絵を展示することで、江戸～明治時代の人々の生き生きとした暮らしと文化を紹介します。㊨豊岡市立歴史博物館-但馬国府・国分寺館- ㊨0796・42・6111



楊洲周延「徳川時代貴婦人の図」

丹波

■冬期特別展「パレオ・ハベ展～太古の両生爬虫類たち～」
㊨3月6日(日)まで㊨10時～16時、入館は15時30分まで㊨月曜日(ただし祝日の場合は翌平日)、12月29日～1月3日㊨大人210円、小中学生100円㊨パレオ(=古い)・ハベ(=両生爬虫類学(Herpetology)の略語)とは、カエル類やトカゲ類の化石を研究する学問のことです。丹波地域に広がる約1億1000万年前の地層は、新種のトカゲ類やカエル類の化石がたくさん見つかる世界有数の両生爬虫類化石産地です。本展では、恐竜たちの影にひそんでいた太古のちいさなモンスターたちの世界を紹介します。㊨丹波市立丹波竜化石工房「ちーたんの館」 ㊨0795・77・1887



シモスクス復元図 ©雨宮ひかる
■寅年・新春記念展-丹波を訪れた四人の巨匠たち-

㊨1月15日(土)～3月13日(日)㊨10時～17時、入館は16時30分まで㊨月曜日㊨一般600円、大高生300円、中小生150円
㊨丹波を訪れた4人の近代日本画の巨匠・幸野樗嶺、小川芋銭、富岡鉄斎、大橋翠石の展覧会。豊かな穀倉地域である丹波の地を訪れた画家たちのエピソードを、彼らが丹波市に残した作品を通して紹介します。㊨丹波市立植野記念美術館 ㊨0795・82・5945



大橋翠石《猛虎図》個人蔵

淡路

■開館30周年記念 松帆銅鐸展示室企画展「銅鏡オリンピック」展
㊨3月13日(日)まで㊨9時～17時、入館は16時30分まで㊨月曜日(ただし祝日の場合は翌平日)、12月27日～1月3日㊨大人300円(友の会会員は270円)、大高生200円、中小生100円㊨東アジアでは、日本で青銅器文化が始まるはるか以前、紀元前三千年紀後半に青銅器が出現します。その中で鏡は紀元前二千年頃の黄河上流域の齊家文化に始まり、その後、金メッキ(鍍金)や銀板を嵌め込んだ(貼銀)鏡も生み出されます。本展では、戦国時代から唐にかけての古代中国鏡を展示します。金銀をあしらった眩い銅鏡があたかもメダルのように輝きを放ち、当館にてその美しさを競い合います。㊨南あわじ市滝川記念美術館 玉青館 ㊨0799・36・2314

県外(京都)

■トラ時々ネコ 干支(エト)セトラ
㊨前期1月29日(土)～3月7日(月)、後期3月9日(水)～4月10日(日)※会期中、一部展示替えあり。㊨10時～17時、入館は16時30分まで㊨火曜日㊨一般1300円、高校生700円、中小生400円㊨今年の干支・寅にちなんだ展覧会。トラの生息していない日本、江戸時代の画家たちが参考にしたのは中国などから輸入された毛皮や絵画、ネコでした。そのため、不自然な姿をしていたり、ネコのようなトラ“ネコトラ”がたくさん描かれました。明治時代に入ってトラが動物園で飼育され始めると写実的なトラが描かれるようになっていきます。本展では、江戸時代に活躍した画家・与謝蕪村、円山応挙から、明治から昭和にかけて活躍した竹内栖鳳、大橋翠石などが描く虎の絵を主役に、ほかの干支の動物を描いた作品などを展示します。㊨福田美術館 ㊨075・863・0606★5組10人に。14日(金)必着



円山応挙「虎図」福田美術館蔵(前期)

ピッコロ演劇学校・舞台技術学校 令和4年度生募集 4月開講(1年間)

日本を代表する劇作家・演出家・俳優、現役で活躍する舞台技術者を講師にむかえ、演劇や舞台づくりの基礎から実践まで、一年間かけて学べる学校です。夜間開講、そして公立ならではの授業料により社会人・学生でも無理なく通えます。

ピッコロ演劇学校
■初心者でもよくわかる、座学&実技とも充実のカリキュラム
■半期ごとに発表会・公演を実施
■「劇場が教室」という最高のメリット
■舞台技術学校の授業も聴講可能

【応募資格】原則として18〜35歳までの健康な人(右記年齢以外でも教員や文化活動をしている人は可)

【募集人数】本科40名(研究科20名※経験者対象)

【年間授業料(3期分納)】本科120000円、研究科132000円



演劇学校



舞台技術学校

【授業】原則毎週2回(火曜・木曜)、18時40分〜20時40分

【体験入学】
1月16日(日)14時〜16時30分 大ホール
参加無料・要申込(原則高校生以上・定員有)未経験でも安心! 劇表現の授業を体験。学校説明会も開催します。

【募集人数】30名

【年間授業料(3期分納)】100000円

【授業】原則毎週2回(水曜・金曜)、18時40分〜20時40分

【両校・募集受付開始】1月16日(日)

【両校・募集締切】前期/3月15日(火)、後期/4月6日(水)

願書はピッコロシアターまでお問い合わせください。

【基礎から本番まで、イチから学べる丁寧な講義】
■実践重視のカリキュラム
■プロとして活躍する卒業生も多数
■演劇学校の授業も聴講可能

※令和4年度の定員・カリキュラム等については、新型コロナウイルスの感染状況によって変更になる場合があります。

2022 ピッコロ寄席 桂米團治 独演会



桂米團治

ピッコロシアターの新春の顔として恒例の「桂米團治独演会」。ますます磨きがかかる華やかな高座をお楽しみください。

【内容】「狸の賽」團治郎「掛取り」米團治、「親子酒」紅雀、「はてなの茶碗」米團治(中入)「三枚起請」

【日時】2月13日(日)14時

【場所】ピッコロシアター 大ホール

【入場料】一般3000円、高校生以下1500円(全席指定)

【申し込み】お問い合わせは 06-6426-1940

兵庫県立芸術文化センター 1月発売予定公演 7日(金)発売

月亭方正 独演会

落語家 月亭方正とし、14年目の春、師匠・八方をゲストに迎え、出身地・西宮での独演会。

お笑い芸人から落語の道へ転身を果たし、人気・実力ともに急上昇の月亭方正。



月亭 方正



月亭 八方

芸人として培った、笑いのエッセンスを散りばめながら、磨き上げた古典落語の世界をたっぷりとお届けします。

【演出】当日のお楽しみ

【出演】月亭方正、豊栄家玉之助(大神楽曲芸)、月亭柳正

【ゲスト】月亭八方

【日時】4月10日(日)13時

【場所】阪急中ホール(芸術文化センター)

【入場料】A席3000円、B席2000円(全席指定)

芸術文化センター管弦楽団第132回定期演奏会 道義のオール・プロコフィエフ

プロコフィエフ若き日のヴァイオリン協奏曲第1番は、PAC定期初登場の服部百音がソリスト。みずみずしい音楽に

ご期待ください。一方の交響曲第7番は晩年の作。躍動するリズム、叙情的なメロディを、マエストロの熱いタクトが奏



井上 道義



服部 百音

【曲目】プロコフィエフ/Vァイオリン協奏曲第1番、交響曲第7番

【出演】指揮/井上道義、ヴァイオリン/服部百音、管弦楽/兵庫芸術文化センター管弦楽団

【日時】4月15日(金)、16日(土)、17日(日)各日15時

【場所】KOBELCO 大ホール(芸術文化センター)

【入場料】A席4000円、B席3000円、C席2000円、D席1000円(全席指定)

仲道郁代 ピアノ・リサイタル「知の泉」

開館以来、多くの公演で芸文センターの聴衆を魅了してきた仲道郁代。日本を代表する人気ピアニストである彼女の音楽への探求心はとどまること

とを知らず、キャリアを重ねることに進化し続けています。今回はベートーヴェン没後200周年と自身の演奏活動40周年が重なる2027年に向けて企画した10年にわたる壮大なコンサートシリーズ「The Road to 2027プロジェクト」からベートーヴェンを核に据えたプログラムをお届け



仲道 郁代

にも、第二次世界大戦中、ナチスに包囲されたレニングラードで書かれたことと知られる大曲、交響曲第7番に挑みます。

【曲目】ショスタコーヴィチ/ピアノ協奏曲第2番、交響曲第7番「レニングラード」

【出演】指揮/下野竜也、

ピアノ/プラメナ・マンガロヴァ、管弦楽/兵庫芸術文化センター管弦楽団

【日時】6月10日(金)、11日(土)、12日(日)各日15時

【場所】KOBELCO 大ホール(芸術文化センター)

【入場料】A席4000円、B席3000円、C席2000円、D席1000円(全席指定)



プラメナ・マンガロヴァ



下野 竜也

芸術文化センター管弦楽団第133回定期演奏会 佐渡裕 ショスタコーヴィチ5番

エネルギー溢れる曲揃いの本公演。佐渡芸術監督の師匠、バリンスタインの傑作「プレリユード、クラリネット協奏曲、バリンスタイン/プレリユード、フーガとリフス、ショスタコーヴィチ/交響曲第5番

の傑作「プレリユード、クラリネット協奏曲、バリンスタイン/プレリユード、フーガとリフス、ショスタコーヴィチ/交響曲第5番



佐渡 裕



ラスロ・クティ

【出演】指揮・芸術監督/佐渡裕、クラリネット

フーガとリフス」、師の得意レパートリー、ショスタコーヴィチの交響曲第5番を演奏します。

【曲目】コーブランド/クラリネット協奏曲、バリンスタイン/プレリユード、フーガとリフス、ショスタコーヴィチ/交響曲第5番

【出演】指揮・芸術監督/佐渡裕、クラリネット

【日時】5月13日(金)、14日(土)、15日(日)各日15時

【場所】KOBELCO 大ホール(芸術文化センター)

【入場料】A席4000円、B席3000円、C席2000円、D席1000円(全席指定)

チケットを購入されるお客様へ
新型コロナウイルス感染防止対策にご理解とご協力をお願いいたします。
※マスクを着用されていない方はご入場できません(マウスシールド不可)。
※平熱より1℃以上、もしくは37.5℃以上の発熱がある方は入場をお断りさせていただきます。
※座席は、業種別ガイドラインに基づき、隣席を空けない配席で販売します。
※来場者情報を把握するため、芸術文化センターでのチケットのご購入は芸術文化センター先行予約会員の登録(無料)が必要です。お一人様2枚までとさせていただきます。
※掲載の情報は、やむを得ない事情により、中止・変更になる場合がございます。最新の情報につきましては、当センターウェブサイト等をご確認ください。
※公演が中止・延期になった場合、購入者の方には、先行予約会員に登録されているメールアドレスに、メールでお知らせいたします。

兵庫県立芸術文化センター

アクセス 阪急西宮北口駅南改札口より徒歩15分(直結)
JR西宮駅より徒歩16分(阪急バス停)

お問い合わせは 079-68-680255
(10時〜17時・月曜休み※祝日の場合翌日)

http://www.gcenter-hyogo.jp

但馬 地域の文化情報

兵庫県地域文化団体協議会 令和3年度 兵庫県地域文化を考えるシンポジウム

テーマ「文化活動を活かした 魅力あるふるさとづくり」



基調講演 講師 角野 幸博氏

昨年度から延期となっていた本シンポジウムを、11月16日(火)但馬地区(朝来市・あさご・ささゆりホール、あさご芸術の森美術館)で実施しました。地域活動報告では、県内6地区よりイベントや体験活動事業などについて発表がありました。地域文化の振興や継承、地域の活性化に真摯に取り組む様子を聞いて、活動意欲がさらに高まったとの感想が多く聞かれました。

基調講演では、関西学院大学建築学部長で県立丹波の森公苑長でもある角野幸博氏から「集まれ文化の森に」と題してお話ししていただきました。「地域づくりの基本として、地域経営の中に文化政策を位置付けることが重要である。過疎化し衰退する集落、消滅の危機にある伝統文化を救うためには文化の広場としての森で人々が定期的に出会う仕組みづくりが大切



美術館で説明する高校生

であり、そのために文化ネットワークの構築が必要である」と話され、今後の文化活動の方向性を示唆してくださいました。さらに兵庫県立和田山高等学校3年生が「あさご芸術の森美術館の魅力発信」というテーマで実践発表を行いました。高校生の目線から美術館の特色と課題を捉え、より多くの人にとって魅力的な場所にするための提案がありました。「具体的な内容でとてもわかりやすかった」と参加者からは好評でした。

その後は、会場をホールから雄大なロックフィルドムの直下に位置する美術館へ移しましたが、移動途中には広大な野外彫刻公園の景観を楽しみました。ここでも、和田山高校生が3か所に分かれて説明してくれたので作品への理解が深まりました。

コロナ禍、そして但馬という遠方にも関わらず、多くの方に参加していただきました。出演者の「このような時だからこそ心の癒しを」という温かい心や、参加者の「文化の灯は決して消してはならない」という熱い思いに溢れた大会になりました。

ひょうごの 国宝・重文 そぞろ歩き

国宝 三重塔 優美な姿 北条鉄道 お客増に各駅挑む



国宝の三重塔

聖徳太子及び天台高僧像という美術品の国宝がある。さらに、国指定の重要文化財に、本堂、法道仙人木像、石造五輪塔などがあり、文化財の宝庫という感じだ。加西にはコハクチョウが飛んでくる池があると

法華山一乗寺は、加西市南部の山あいにある。お寺でもらった冊子には、650(白雉元)年、法道仙人の開基としている。なにしろ仙人である。天竺(インド)から紫雲に乗って飛んできた。眼下に見えた谷の形が蓮華に見えたので、お寺を開くにはここがよい、と降り立ったという。なんとも面白い話ではないか。

ちなみに県内には、法道仙人の開基と伝わるお寺が各地にある。バス停のすぐ前が、お寺を拝観する受け付けだ。入つてまっすぐに行き、石段を上る。左手に常行堂を見て、さらに石段をのぼる。息が切れるころ、国宝の三重塔の前に立った。

塔のてっぺんにある金輪の部材に、1171(承安元)年の刻印があつて、建設年代が特定されている。塔の屋根が上部にくぼくぼく小さくなるように建てられるなど、平安様式の優美な姿を示すとして、国宝になった。

一乗寺にはもう一つ、池は県立フラワーセンターのすぐ北にある。池の周りを歩くが、いるのはカモ類ばかり。コハクチョウの姿は見えない。

近くの喫茶店のマスター1、岩佐隆さん(72)は「かつては数十羽が群れていた。カメラマンがたくさん写真撮影に来ていた」と振り返る。

一乗寺 (加西市)

播磨下里駅ではボランテア駅長が月2回、法話の会を催す。法華口、播磨下里、それに長の三つの駅舎は国の登録有形文化財だ。

5月、5度出撃し全21機が失われ63人の若人が亡くなった。【プレゼント】フラワーセンター入園券を抽選で、5組10人に。応募方法は3面に記載。締め切りは14日(金)必着。



満足ランチプレート

ストラン経営者、市民らが団体を結成し、クラウドファンディングで資金をつのり、空き家を改造しスタートした。

普段は、女性4人で切り盛りする。撮影に応じたくれた坂口恵さんと福山瑠美さんがテキパキと接客している。

北条鉄道は、地域の人たちに愛されている鉄道である。加西市の北条町駅と小野市の粟生駅を結ぶ13・6キロの単線だ。乗客を増やそうと、各駅で取り組む活動が話題を呼ぶ。

法華口駅では、パン工房が米粉パンを販売する。



北条鉄道の北条町駅



鷲野飛行場の滑走路跡

行場跡には長さ1200m、幅60mの滑走路跡が残る。ここを拠点にした特別攻撃隊白鷲隊は、1945(昭和20)年4月から



鷲野飛行場の滑走路跡

お出かけよつとX7E

▼法華山一乗寺II 加西市坂本町821-17。JR姫路駅から神姫バス、法華山一乗寺経由(ヤシロ)行きで法華山一乗寺バス停下車、すぐ前がお寺の受け付け。車だと山陽自動車道古川北ICから一般道へ、または中国自動車道加西ICから一般道へ。拝観料は大人500円、中学生200円。宝物館を見るには別に大人500円、中学生250円、2週間前の予約が必要。☎0790・48・2006。予約はファクス☎0790・20・4333でも可。

▼コハクチョウ飛来池II 三田池(豊倉町)、長倉池(玉丘町)、水正池(上宮木町)の3箇所が飛来池マップにあげられている。加西市観光協会☎0790・42・8715

▼はりまのちっちゃな台所II 加西市北条町北条1097-11。北条鉄道北条町駅から徒歩5分。日

▼姫路海軍航空隊鷲野飛行場跡II 加西市鷲野(戦時中、開隊当時の地名は加西郡九会村、下里村)。跡地につくられた備蓄倉庫で紫電改の実物大模型が毎月第1、第3日曜日10時~15時、公開されている。見学は無料。正月2日はお休み。操縦席の搭乗体験には現地での整理券が必要。加西市観光協会☎0790・42・8715



駐車場37台完備(24時間営業)

兵庫県民会館

音楽会、講演会、研修会、展覧会などにご利用いただけます。

9階けんみんホール

定員360名。多彩な利用ができます。



11階パルテホール

定員150名。展示商談会、各種表彰式にも利用できます。

県民会館のSNS発信を 始めました。ギャラリーの展示会情報 やご利用案内などをお届け します。



兵庫県民アート ギャラリー情報 ○展示パネル、室内照明等リニューアル ○小展示室を拡張し、より広く使いやすく ○バーチャルギャラリー "Walk360"の運用開始 VR技術を活用し、自宅等でパソコン・スマホで、歩いているような感覚で、ギャラリーの展示会がご覧いただけます。 ※詳細は、アートギャラリー担当まで(連絡先は右記)

〒650-0011 神戸市中央区下山手通 4丁目16番3号

【アクセス】

▽地下鉄山手線「県庁前駅」下車すぐ
▽JR神戸線「元町駅」・阪神本線「元町駅」下車、北へ徒歩約7分

お申し込み・お問い合わせ

TEL. 078-321-2131

FAX. 078-321-2138

https://hyogo-arts.or.jp

※空室情報はホームページで 随時更新中

新型コロナウイルス感染防止対策にご理解とご協力をお願いいたします。